

クイズ大会をしよう!
～だれが、たべたのでしょう～

学 年：知的障害特別支援学級
児 童 数：4名
(1学年 名, 2学年 名)
場 所：すみれ教室

楽しく論理的読解力を育てるポイント



単元のゴールに学級内での『だれが、たべたのでしょう』クイズ大会を設定する。動物が食べた後の食べ物の絵と、「問い」「答え」「食べ方」を書いたカード作りをするという目的意識をもたせ、文章を読み取り、表現する力を付ける。

1 単元のデザイン

単元の重点目標<本校で育てたい資質・能力との関連>

| | |
|----|---|
| A児 | <p>○問いと答えの文を読むことを通して、動物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れ、理解することができる。 [知識・技能(2)ア(ウ)]</p> <p>○写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等Cア] <論理的読解力></p> <p>○本文や紙芝居の読み聞かせに親しんだり, 文字を拾い読みしたりして, 説明文に興味をもつ。 [学びに向かう力, 人間性等] <積極性></p> |
| B児 | <p>○問いと答えの文を読むことを通して、動物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れ、理解することができる。 [知識・技能(2)ア(ウ)]</p> <p>○教師と一緒に教材文を読んで、登場する動物の動作を思い浮かべることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等Cア] <論理的読解力></p> <p>○本文や紙芝居の読み聞かせに親しんだり, 文字を拾い読みしたりして, 説明文に興味をもつ。 [学びに向かう力, 人間性等] <積極性></p> |
| C児 | <p>○問いと答えの文を読むことを通して、動物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れ、理解することができる。 [知識・技能(2)ア(ウ)]</p> <p>○教師と一緒に教材文を読んで、登場する動物の動作を思い浮かべることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等Cア] <論理的読解力></p> <p>○本文や紙芝居の読み聞かせに親しんだり, 文字を拾い読みしたりして, 説明文に興味をもつ。 [学びに向かう力, 人間性等] <積極性></p> |
| D児 | <p>○問いと答えの文を読むことを通して、動物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れ、理解することができる。 [知識・技能(2)ア(ウ)]</p> <p>○写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等Cア] <論理的読解力></p> <p>○本文や紙芝居の読み聞かせに親しんだり, 文字を拾い読みしたりして, 説明文に興味をもつ。 [学びに向かう力, 人間性等] <積極性></p> |

【児童について】

本学級は、第1学年 名, 2学年 名の知的障害特別支援学級である。国語科の学習ではB児とC児は、語彙数が少なく、普段の生活経験を重ねながら少しずつ言葉を広げている。

A児とD児も、語彙数は少なかったが、生活経験から言葉を次々と獲得し、D児は使える言葉の数も豊富になり使い方も獲得している。

個々の児童の実態は、次の通りである。

| 児童 | 学習の実態 |
|----|---|
| A児 | <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名の読み書きができる。語彙がやや少ない。 ○聞いて理解したり，写真や挿絵から状況を読み取ったりする力がある。 ○簡単な語句や短い文を読む時には，一文字読みである。文字に興味をもっている。 |
| B児 | <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名，カタカナと漢字を少し読むことができる。文章を読むと，ゆっくりとした一文字読みになる。 ○教師の言ったことや動作を模倣することができる。 ○車の本を見るのが好きである。生き物にも興味を示すようになってきている。 |
| C児 | <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名，カタカナと漢字を少し読むことができる。 ○自分で想像することは苦手だが，同じパターンで活動し慣れてくると経験したことを表現することや，思考することができる。 ○簡単な語句や短い文を読む時には，一文字読みであるが，一生懸命読もうとする。生き物に興味をもっている。 |
| D児 | <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名，カタカナと漢字を少し読むことができる。 ○聞いて理解したり，写真や挿絵から状況を読み取ったりすることができる。 ○簡単な語句や短い文を読む時には，一文字読みである。漢字に興味をもっている。 |

【教材について】

本教材「だれが，たべたのでしょうか」（教育出版1年上）は，「問いの文」「答えの文」がはっきりして分かりやすく，生き物を扱っていることから児童も身近に感じ，親しみやすい教材である。生活単元学習で「まつぼっくり」や「木の葉」を見つけに行ったり，それらを使って作品を作ったりしている。また，社会見学で動物園に行った際には，りすやむささびを見つけるなど，他教科と結び付けて学習することによって文章の内容理解を深めることができる。文章量が少なく，挿絵と文章のマッチングが可能なことで児童が関心をもつことができる。

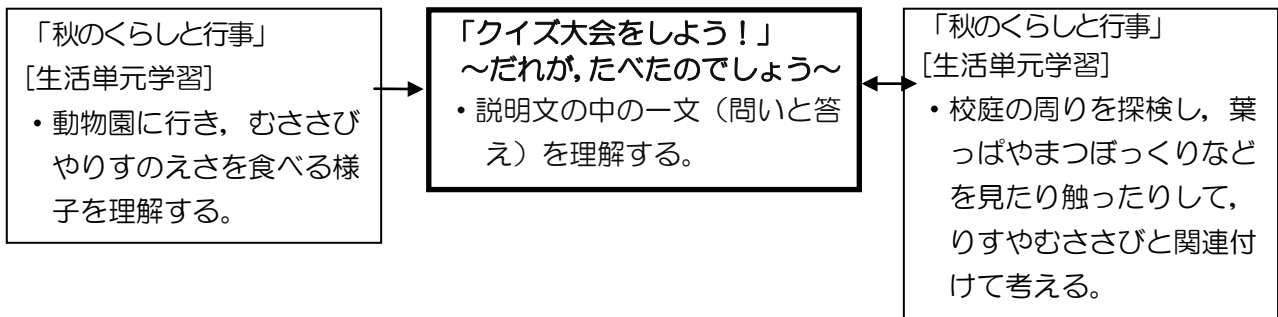
【指導について】

| 児童 | 指導にあたって |
|----|---|
| A児 | <ul style="list-style-type: none"> ○写真や絵カード等を使い，興味のある動物や食べ物の名前とその文字を結びつけて覚えさせるようにする。 ○問いの文と答えの文を揃えて提示することで，「が」「を」の文字に着目させ，答えを見付けさせるようにする。 ○平仮名で書かれた単語や短い文章を読み聞かせをしたり，役割読みをさせたりする中で，自信をもたせ意欲付けを図るようにする。 |
| B児 | <ul style="list-style-type: none"> ○文節ごとに音読できるように，指さし読みをさせたり，文節ごとに線を引いたりさせる。 ○活動をパターン化・単純化することで，読み取ったり，動作化したりする活動に見通しをもたせ，自信をもって取り組めるようにする。 ○教材文の動物だけではなく，興味をもっている動物の説明文の読み聞かせをし，意欲付けを図る。 |
| C児 | <ul style="list-style-type: none"> ○文節ごとに音読できるように，指さし読みをさせたり，文節ごとに線を引いたりさせる。 ○活動をパターン化・単純化することで，読み取ったり，動作化したりする活動に見通しをもたせ，自信をもって取り組めるようにする。 ○教材文の動物だけではなく，興味をもっている動物や虫の説明文の読み聞かせをし，意欲付けを図る。 |
| D児 | <ul style="list-style-type: none"> ○文節ごとに音読できるように，指さし読みをさせたり，文節ごとに線を引いたりさせる。 ○問いの文と答えの文を揃えて提示することで，「が」「を」の文字に着目させ，答えを見付けさせるようにする。 ○単元の導入で，カブトムシやカラスなど，興味をもっている動物の説明文を読み聞かせることから，学習を始めるようにする。 |

2 単元の重点目標に対する評価規準

| 児童 | 知識・技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 主体的に学びに向かう態度 |
|----|---------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| A児 | 平仮名で書かれた動物, 食べ物, 動作などの文を理解している。 | 写真などを手がかりに, 単語カードを選んだり, 動作化したりしている。 | 教材文に書かれている文を, 意欲的に読もうとしている。 |
| B児 | 平仮名で書かれた動物, 食べ物, 動作などの文を理解している。 | 教師や友達の読む声に合わせて, 文を読んだり, 動作化したりしている。 | 教材文に書かれている単語を, 意欲的に読もうとしている。 |
| C児 | 平仮名で書かれた動物, 食べ物, 動作などの文を理解している。 | 教師や友達の読む声に合わせて, 文を読んだり, 動作化したりしている。 | 教材文に書かれている単語を, 意欲的に読もうとしている。 |
| D児 | 平仮名で書かれた動物, 食べ物, 動作などの文を理解している。 | 写真などを手がかりに, 単語カードを選んだり, 動作化したりしている。 | 教材文に書かれている文を, 意欲的に読もうとしている。 |

3 他教科等との関連



4 指導計画 (全6時間)

| 次 | 学習活動(時) | 評価 | | | 指導の留意事項 |
|---------|---|----|---|---|---|
| | | 知 | 思 | 主 | |
| 〇 出会い | ・ねずみ, りす, むささび等の写真や動画, 絵本を見たり, 実物のくるみや葉っぱ, まつぼっくりを見たり触ったりして, 興味をもつ。 | ○ | | ◎ | ・児童一人一人が興味をもっている動物の説明文の読み聞かせをし, 説明文にも興味をもつことができるようにする。 |
| 一 見通し | 課題の発見(1) ・本文を読み, 学習のまとめとしてクイズ大会をすることを知り, 単元の見通しをもつ。 | | ○ | ◎ | ・食べ物や動物の名前を覚えさせることにより, 学習内容に興味・関心をもたせ, 意欲的に取り組むことができるようにする。 |
| 二 内容の把握 | 課題の追究①(1) ・本文を紙芝居化したものを見て, 全体の大まかな内容をつかむ。 | ◎ | | ○ | ・説明文全体の流れを大まかにつかませるために, 全体を並べて目で見えるように紙芝居を作成しておく。 |


| | | | | |
|-------------------|--|---|---|---|
| 三 精査・解 釈 | 課題の追究②（3） ・文章と写真を結び付けながら、ねずみがくるみを食べる様子を読み取る。 | ◎ | ○ | ・本文に出てくる動物が実際に食べる様子の動画を見てイメージをつかませる。 ・第三次の3時間では、同じような授業展開を行うことにより、読み取りやすくさせる。 |
| | ・文章と写真を結び付けながら、むささびが葉っぱを食べる様子を読み取る。 | ◎ | ○ | ・「だれが」「なにを」「たべる」の文節に分け、文の成り立ちを理解させる。 |
| | ・文章と写真を結び付けながら、りすがまつぼっくりを食べる様子を読み取る。 （本時5/6） | ◎ | ○ | ・本文を動作化して、それぞれの動物の食べ方をつかませる。 ・りすの食べ方を学習した後、自分はどんな動物のカードを作りたいかを発表し、次時への意欲付けを図る。 |
| 四 考えの形 成・共有 | 学びの深化（1） ・「だれが、たべたのでしょう」カード（問いカード、答えカード、食べ方カード）を使い、クイズ大会をする。 | ◎ | ○ | ・「問い」と「答え」の言い方を使って、クイズを出したり、答えたりさせる。 ・本時までカードを完成させておく。 ・教材文に出てこない、児童の好きな生き物のカードを作ってもよいことにし、楽しく活動できるようにする。 |

5 本時の展開

（1）本時の目標

| | |
|----|----------------------------------|
| A児 | ○「だれが」「なにを」の文節に合う単語カードを選ぶことができる。 |
| B児 | ○りすがまつぼっくりを食べるように、動作化することができる。 |
| C児 | ○りすがまつぼっくりを食べるように、動作化することができる。 |
| D児 | ○「だれが」「なにを」の文節に合う単語カードを選ぶことができる。 |

（2）板書計画

| | | | | | | | |
|------------------------------------|---------------------------|---------------------|----------------|--|--------------------|---------------------|-------------|
| たべかた たりすは、まつぼっくりのこしをのみます。まわりだけを | こたえ りすが、まつぼっくりをたべたのです。 | もんだい ただれがまつぼっくりを | しんだけになったまつぼっくり |  | た(りすが)べるようすをよみとろう。 | めあて だれが、たべたのでしょう | クイズたいかいをしよう |
|------------------------------------|---------------------------|---------------------|----------------|--|--------------------|---------------------|-------------|

(3) 本時の学習展開 (5/6)

| 学習活動 | ◇指導上の留意点 ☆支援 ◎評価 (評価方法) ○主な発問や指示 ・予想される児童の反応 | | | | |
|--|--|---|--|--|---|
| | 全体 | A児 | B児 | C児 | D児 |
| 1 前時までの学習について振り返る。 ・前時に学習した本文を音読する。 | ○前時の学習を振り返りましょう。 | ・「むささびのたべかたを べんきょうしました。」 | | | ・「むささびのたべかたを べんきょうしました。」 |
| 2 本時のめあてを確認する。 ・「しん」だけになったまつぼっくりを見て、だれが食べたのかを考える。 | ◇一人一人に自分のめあてを確認させる。 ☆本時のめあてと予定を見せて、見通しをもたせるようにする。 | 「だれが」「なにを」の文節に合う単語カードを選ぶことができる。 | リスがまつぼっくりを食べるように、動作化することができる。 | リスがまつぼっくりを食べるように、動作化することができる。 | 「だれが」「なにを」の文節に合う単語カードを選ぶことができる。 |
| (りすが) まつぼっくりを たべるようすを よみとろう。 | | | | | |
| 3 本文の音読をする。 ・教師の範読を聞く。 ・教師の後について読む。 | | ◇指さし読みをしながら、どこを読んでいるのかわかるようにする。 | ◇本文を目で追わせる。 ☆読んでいる部分を指で示すようにする。 | ◇本文を目で追わせる。 ☆読んでいる部分を指で示すようにする。 | ◇指さし読みをしながら、どこを読んでいるのかわかるようにする。 |
| 4 写真に「しん」はどこかを書き込む。 | ☆まつぼっくりの種をとった経験を想起させ、どれが「しん」かを確認する。 | ◇「しん」の部分を指で押さえさせ、そこに自分で「しん」と書き込ませる。 | ☆自分で見付けられない場合は、「しん」と書き込んだ写真を用意しておき、見せるようにする。 | ☆自分で見付けられない場合は、「しん」と書き込んだ写真を用意しておき、見せるようにする。 | ◇「しん」の部分を指で押さえさせ、そこに自分で「しん」と書き込ませる。 |
| 5 リスがまつぼっくりを食べる様子の動画を見る。 | ○リスが、どのようにしてまつぼっくりを食べるのかに気を付けて、動画を見ましょう。 | ・「しんを残している。」 ☆「しん」という言い方でなく、児童の言いやすい言葉でもよいことにする。 | ・動画をじっと見る。 | ・動画をじっと見る。 | ・「しんを残している。」 ☆「しん」という言い方でなく、児童の言いやすい言葉でもよいことにする。 |
| 6 リスがまつぼっくりを食べるように、動作化する。 | ◇まつぼっくりのしんだけを残してまわりだけをとらせてみる。 | ◇なぜ「しん」を残すのかを理解させながら動作化させる。 | ☆A児、D児の動作を見せ、何をしたらよいか気付かせてから、動作化させるようにする。 ◎リスがまつぼっくりを食べるように、動作化している。 (行動観察) ◎おおむね満足できる児童の姿 ・リスのように、まつぼっくりのしんをのこして食べる動きをすることができました。 | ☆「しん」だけにいらなくても、種の一部がとれたらよいことにさせる。 ◎リスがまつぼっくりを食べるように、動作化している。 (行動観察) ◎おおむね満足できる児童の姿 ・リスのように、まつぼっくりのしんをのこして食べる動きをすることができました。 | ◇なぜ「しん」を残すのかを理解させながら動作化させる。 |
| 7 「問いの文」「答えの文」で役割読みをする。 | ◇教師とA児、D児、A児とD児と役割読みをさせた後、B児、C児と交代させるようにする。 | ◇「問いの文」「答えの文」のどちらの役かを理解させ、役割読みをさせる。 | ◇周りの声を聞きながら、役割読みをさせる。 | ◇周りの声を聞きながら、役割読みをさせる。 | ◇「問いの文」「答えの文」のどちらの役かを理解させ、役割読みをさせる。 |
| 8 「だれが」「何を」の文節に気を付けて、「問いの文」「答えの文」の穴埋め問題をやる。 | ☆視覚的に答えを見付けやすくするため、問いの文と答えの文は、「だれが」と「なにを」の部分をそれ | ☆「だれが」「なにを」のところに、3枚の言葉カードから選ばせるようにする。 | ☆「だれが」「なにを」のところに、3枚の写真から選ばせるようにする。 | ☆「だれが」「なにを」のところに、3枚の写真から選ばせるようにする。 | ☆「が」「を」の文字を○で囲み見付けやすくする。 |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| <p>9 個別の課題をする。</p> <p>10 本時のまとめをする。</p> | <p>ぞれ横をそろえて板書する。</p> <p>◇書き込んだ用紙と写真を貼り合わせ、それを「だれが、たべたのでしょう」カードに活用させる。</p> <p>○今日は「だれが」「なにを」食べるお話でしたか？</p> <p>○リスは、どのようにしてまつぼっくりを食べますか？</p> | <p>◎「だれが」「なにを」のところに正しい単語カードを当てはめている。 (行動観察)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎おおむね満足できる児童の姿</p> <p>・「だれが」「なにを」のところに(りす), (まつぼっくり), 「〇〇をのこします。」のところに(しん)のカードを当てはめることができました。</p> </div> <p>◇物の名前と動物の名前を平仮名で書かせる。</p> <p>・「リスが、まつぼっくりを食べるお話です。」</p> <p>・「しんを、のこしてまわりだけを食べます。」</p> | <p>◇物の名前と動物の名前をカタカナで書かせる。</p> <p>・「リス」</p> <p>・「まつぼっくり」</p> <p>・リスが、まつぼっくりを食べる動作をする。</p> | <p>◇物の名前と動物の名前をカタカナで書かせる。</p> <p>・「リス」</p> <p>・「まつぼっくり」</p> <p>・リスが、まつぼっくりを食べる動作をする。</p> | <p>◎「だれが」「なにを」のところに正しい単語カードを当てはめている。 (行動観察)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎おおむね満足できる児童の姿</p> <p>・「だれが」「なにを」のところに(りす), (まつぼっくり), 「〇〇をのこします。」のところに(しん)のカードを当てはめることができました。</p> </div> <p>◇物の名前と動物の名前をカタカナで書かせる。</p> <p>・「リスです。」</p> <p>・「まつぼっくりです。」</p> <p>・「しんをのこします。」</p> |
|---|--|--|--|--|---|